

令和2年度 事業報告書  
 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで  
 特定非営利活動法人工房・虹と夢

1 事業の成果

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、製品の販売機会が激減するという、これまで経験したことのない厳しい状況下での活動となりました。虹と夢も昨年1月以降は販売の機会や場所がほぼ皆無となるなど、これまで経験したことのない厳しい状況の下にあります。地域との繋がりを大切にしながら活動してきた工房・虹と夢ですが、感染力の強い新型コロナウイルス対策に当たっては、何よりも利用者の安心・安全を第一に工房運営にあたってきました。出勤する前の体温測定、工房内ではマスクの着用や消毒の徹底など、利用者・保護者の協力をいただきながら感染予防のための対策に万全を期してきました。本年に入って、函館市内でも感染拡大が続き、感染予防の見地からやむを得ず時間短縮の措置を実施(1月28日～2月12日)せざるを得ませんでした。

\*障がい者の自立支援に関する事業

工房・虹と夢は、ひとり一人に対する支援計画と、それに基づいた日常の作業指導・内容を現実にあつた形で組み立ててきました。また、利用者それぞれの障がい特性に応じた選択肢や可能性を広げる取り組みを通じ、工房の一員であるとの自覚を共有できるよう努力してきました。

イ) 就労継続支援事業《工房・虹と夢》

① 自主製品の製造・販売

コロナ禍の影響で、福祉合同作品展など1月以降のイベントの多くが中止となりました。また、どんぐり2やCogなどの授産製品を扱う事業所も利用者の減少などで大きな影響を受けることとなりました。

② 受注作業

地域のネットワークを通じて複数の企業からの作業受注や、新たな製品の共同開発などにも取り組み一定の成果を上げることが出来ました。

③ 販売体験などを通じたコミュニケーション能力の獲得

利用者が直接参加する大切な機会と位置づけている各種販売会は一部を除き中止となり、ほとんど実施することが出来ませんでした。

④ 地域との協力、ネットワークづくり

虹と夢の活動を地域に広げる一環として、地域の様々な人々、団体と協力しながらつくりあげてきた〈めぐる市〉や〈パン&スイーツまつり〉〈おてらんど〉など、各種の催し物もコロナ禍のために中止となり開催することが出来ませんでした。また、毎年7月に開催してきた虹と夢まつり、秋の李政美コンサートも開催することが出来ませんでした。

: 研修・啓発に関する事業

イ) 養護学校や地域の相談支援センター、福祉大学などからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れは一部を除いて実施できませんでしたが、障がい者の虐待防止・権利擁護のリモート研修を全員参加で実施することが出来ました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
障害者の自立支援に関する事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス 就労継続支援B型を行った	通年	函館市 工房・虹と夢	6名	実利用者 25名	29,871千円
研修・啓発に関する事業	①養護学校や地域の相談支援センターなどからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れ ②会報などを通じた広報活動『虹メール』年2回発行	①通年 ②9月3月	函館市 工房・虹と夢	6名	①各学校・センター利用者約50名 ②後援会員約200名	105千円

(2) その他の事業

実施しなかった